

教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○:イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるように
カナで奇跡を行いました。(×:カナの婚礼と奇跡)

3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

教会教育部公式サイト <http://ce.ag-j.or.jp/>

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。
すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

教 師 ノ ー ト

日付	2015年 3月29日
単元	イースター
テーマ	十字架
タイトル	十字架につけられたイエス様
テキスト	ルカ23:26-49
参照箇所	マタイ27:32-56、マルコ15:21-41、ヨハネ19:17-30
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ルカ23:34
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入

今日は、イエス様が裁判にかけられて、罪がないのに十字架につけられたお話です。

□ポイント1 イエス様は十字架につけられました(39-41)

イエス様は、エルサレムの町から少し離れた「ゴルゴタ」と呼ばれる丘に向かって歩いていました。ゴルゴダの丘は、イエス様が十字架につけられる場所です。ローマの兵隊たちに囲まれながらイエス様は歩いていました。

イエス様が十字架を背負って歩くのです。その姿を見ようと、たくさんの人たちがついて行きました。ある人は笑っています。またある人は怒っています。またある人は、とても悲しんでいました。ローマの兵隊たちは、イエス様を十字架に釘づけするために歩いています。二人の強盗も一緒に十字架につけられようとしています。それから、イエス様のうしろに、悲しみながら歩く小さなグループがありました。それはイエス様の友だちで、ついて来たのはほとんどが女の人でした。この人たちは泣いていましたが、イエス様は泣いてはいけなと言われてました。

ローマの兵隊たちは重い十字架をイエス様にかつがせましたが、イエス様は少し歩くと、この重い十字架の下敷きになって倒れてしまいました。イエス様の背中には、むちで打たれた深い傷がありました。十字架を背負うと、その傷に十字架がくい込みました。イエス様は、その痛み到我慢出来なかったのです。それにとっても疲れ弱っておられたので十字架の重みに耐えられなかったのです。

一人の兵隊がイエス様の倒れるところを見て、この十字架を他の人に背負わせました。十字架を背負わされたのは、丁度そこを通りかかったクレネ人のシモンという人です。シモンさんは、兵隊に「おい、ここに来て、このユダヤ人の王を助けてやれ。」と言われました。シモンさんは、黙って兵隊に従い、身をかがめて、重い十字架をイエス様の背中から移し、自分が背負ったのです。それはシモンさんにも苦しいものでしたが、シモンさんは何も言いませんでした。

ゴルゴダの丘に着いた時、ローマの兵隊はイエス様を十字架につけました。イエス様は重い木の十字架に釘づけにされました。十字架は地面に掘った穴に立てられました。兵隊たちは十字架の苦しみを取るために、イエス様に酔いぶどう酒を飲ませようとしてました。けれどもイエス様は飲もうとなさいませんでした。

イエス様を十字架につけたあと、二人の強盗も一人ずつイエス様の両側の十字架につけられました。イエス様の頭の上に「これはユダヤ人の王」と書いた札がかけられました。

□ポイント2 イエス様は十字架の上で祈られました(40-46)

イエス様を憎む人たちは、十字架につけられているイエス様を眺め、からかったり、いろんな悪口を言ったりしました。そして「おい、他の人を救うことができても、自分自身を救うことが出来ないのか。」「あれがイスラエルの王だって。王様ならいま十字架からおりてみろよ。そうしたら信じよう。」と言いました。

人々は大事なことを知りませんでした。それは、イエス様はご自分を救うことが出来るけれど、みんなの罪が赦されるために身代わりで死なれる。ということです。また、イエス様をバカにして、ののしることがどんなに恐ろしいことかもわかりませんでした。

イエス様は十字架にかかっている間どんなに苦しまれたことでしょうか。釘が手に打ち付けられ、血は地面に流れ落ちました。でもイエス様はこの人たちのことを思って、「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。」と言われました。

また、イエス様と一緒に十字架につけられた犯罪人が、イエス様のことをバカにしました。しかし、もう一人の犯罪人は、「お前は何を言ってるんだ。おれたちは自分がした悪いことのために十字架につけられたんだ。でも、この方は悪いことを何もしていない」と言いました。それからその人は、イエス様に向かってお願いをしました。「イエス様。天国にいらっしゃったら、私のことを思い出してください。」この人は、自分がした悪いことを認めて、イエス様を救い主だと信じたのです。イエス様はその人に、「あなたは今日わたしと一緒にパラダイスにいます」と約束なさいました。イエス様を救い主と信じるならば、どんなに悪いことをした人でも、心からおわびをすれば無条件で赦され、主と共にいることができるのです。

□ポイント3 イエス様は十字架の上で息を引き取られました(47-53)

十字架につけられてから死ぬまでは、何時間もかかりました。真昼だと言うのに夜のように真っ暗になりました。イエス様は最後に大声で「父よ、わたしの霊をあなたにおまかせします」と叫んで、息を引き取られたのです。

一人の兵隊が、イエス様のわき腹に槍を刺して、確かに亡くなっていることを確かめました。イエス様が死んだ時、不思議なことがおこったのです。エルサレムの神殿の幕が上から下まで裂けたのです。これはイエス様が救い主だということを神様が人々に示したしるしです。人々が罪を許される方法は、この救い主であるイエス様を信じることだけです。

十字架の出来事を最初から最後まで見続けていたしろ百人隊長は、イエス様が本当に正しいお方であったことを認め、神様をほめたたえました。

□結論

罪のない正しい方であったイエス様は、罪人の身代わりとなって罰を受けるという使命を、十字架につけられることによって果たされました。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

イエス様が十字架にかかって下さったのは、私たちが罪から救うためでした。ですから、イエス様のことを「救い主」と言うのです。教会に十字架があるのも、それを見て私たちが神様に感謝するためです。みなさんは、イエス様を自分の救い主として信じますか。神様に赦していただきたいことがあったら、いまお祈りしましょう。神様は、どんな人の罪も赦して、天国に行く約束を与えてくださいます。

教 師 ノ ー ト

日付	2015年 4月 5日
単元	イースター
テーマ	復活
タイトル	復活の朝におこったこと
テキスト	ルカ24:1-12
参照箇所	マタイ:28:1-10、マルコ16:1-8、ヨハネ20:1-10
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ルカ24:6
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□ 導入

今日はイースターです。イースターおめでとうございます。ところでイースターというのは何の日か知っていますか？それは、イエス様が死から復活したことをお祝いする日です。今日はこの復活の出来事についてお話しをします。

□ ポイント1 女の人たちはイエス様のお墓に行きました(1-2節)

先週お話ししたように、イエス様は十字架につけられ殺されてしまいました。イエス様はそのあとどうなったのでしょうか？実は亡くなったイエス様のお体は、議員の一人でヨセフという人が引き取りました。そしてその体は、岩を切り抜いたお墓の中に置かれました。体は白い布でぐるぐるに巻かれたのでした。本当ならば、身近にいた弟子たちがしなければならないことなのに、彼らは怖くなって逃げてしまったのです。

イエス様のお墓の入り口には大きな石が置かれていました。イエス様がお墓に納められた金曜日の夕方から安息日が始まりました。安息日は、すべての仕事を休んで静まって神様のことを思うようにと定められた日です。遠くまで出歩くことも許されていませんでした。イエス様に従っていた女の人たちは、安息日が終わったらイエス様のお墓に行こうと準備をしていました。この女の人たちは、大好きなイエス様が十字架にかけられた時、泣きながら遠くで見守っていた人たちです。そして、イエス様が葬られる時、お墓までついて行って場所を覚えておきました。大好きなイエス様のために出来る限りのことをしてあげたいと思ったからです。彼女たちは、イエス様のお体に香りのよい油を塗りに行くことにしました。日曜日の朝、まだ暗いうちにお墓に向かいました。

でも、ちょっと心配なことがありました。イエス様のお墓の入り口には、大きな石がありふさがっていたのです。女の人々の力では、とても動かすことができないほど大きくて重い石です。「だれか石をどかしてくれるといいんだけど。」そんなことを話していました。お墓に着いたところで、自分たちには何もできないことを知っていたと思います。しかし女の人たちは、イエス様が大好きでしたから、お墓へと足を運ばずにはいられなかったのです。丁度、太陽がのぼる頃、女の人たちはイエス様のお墓に到着しました。

□ ポイント2 イエス様のお体はお墓にはありませんでした(2-8節)

お墓に着いた女の人たちは驚きました。なんと入り口の大きな石がわきに転がっていたのです。「いったいだれが転がしたのでしょうか。」彼女たちは不思議に思いました。そして恐る恐る墓の中をのぞき、中に入りました。なんとびっくりです。イエス様のお体がありませんでした。そこにはお体に巻いてあった布が置いてあるだけでした。いったいどういうことでしょうか。女の人たちは、お墓の中が空っぽなので、どうすればいいのかわからないうちにいました。

その時、光り輝く衣を着た二人の人が近づいてきました。女の人たちは怖くなって、地面に顔を伏せました。その人たちは天使でした。天使はすばらしい知らせを告げたのです。『イエス様は生きていらっしゃるの

に、どうしてお墓の中を探すのですか。無駄なことですよ。ここにはいらっしゃいません。イエス様はよみがえったのです。ガリラヤにいる頃、イエス様がお話しされたことを思い出さない」さらに、「イエス様ご自身が、『わたしは十字架につけられ、三日目によみがえる』とおっしゃっていたでしょう」と言いました。婦人たちはイエス様のおことばを思い出しました。確かにイエス様は、ご自分の十字架と復活のことをおっしゃっていました。でもそのことを聞いた時には、イエス様のおことばの意味がわかりませんでした。しかしイエス様がおっしゃったとおりになったのです。

□ポイント3 女の人たちは急いで弟子たちに伝えました(9-12節)

女の人たちは急いで弟子たちのもとに向かいました。そしてこのすばらしいニュースを知らせました。「みなさん、イエス様はよみがえりました。今、お墓に行ったら、天使があらわれ、そう言っていました。」それを聞いて、弟子たちはどうしたと思いますか。この素晴らしいニュースを弟子たちはすぐに信じなかったのです。

「そんなことがあるわけない。何をくだらないことを言ってるんだ」と、いくら本当だと言っても、「そんなバカな。生き返るなんて信じられないよ」

と、誰も信じませんでした。しかし、ペテロとヨハネだけは、「もしかすると」と思って、お墓に向かって走りだしました。

二人は走りながら、「彼女たちは勘違いしたんじゃないか?」「イエス様は死んだんだよ。僕は三日前に死ぬのをこの目でちゃんと見たんだから。」とっていました。

二人はお墓に到着しました。お墓はマリヤの言うようにあいていて、大きな重い石はころがされていました。二人はびっくりしながらお墓にはいりました。はいると、イエス様のお体を巻いた布が、きちんとたたまれて置いてあるのを見ました。

本当にイエス様のお体はありません。二人は「わからない。とにかく帰ろう。イエス様のお体がなくなっていることは確かだ。」と言い町へ帰って行きました。

□結論 イエス様はよみがえられました

イエス様の復活は、本当にあったのです。そしてこの復活の事実があったからこそ、神様の救いが完成し、私たちは確かに罪赦され、主と共に生きる道が開かれたのです。

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. イエス様は今も生きておられます。そして天国から私たちをいつも見ておられます。それだけではありません。イエス様をお願いをすれば、私たちの心の中に住んで下さいます。そして目には見えなくても、私たちと一緒にいて下さるのです。私たちが信じている神様は、本当にすばらしいお方です。今日あなたもこのイエス様を信じませんか？
2. イエス様は十字架にかかり確かに死んだのです。死んだ人が生き返ることはありません。では、イエス様はなぜよみがえることが出来たと思いますか。それは、イエス様が神の子だからです。イエス様は、よみがえることによって死の力と罪の力に勝利をされたことを示されたのです。私たちは弱く罪に負けてしまいます。しかし罪の力に勝利をされたイエス様を信じるならば、私たちも罪に勝利することができます。今日あなたもこのイエス様を信じてお祈りをしましょう。

教師ノート

日付	2015年 4月12日
単元	イースター
テーマ	生きておられる主
タイトル	よみがえり
テキスト	ヨハネ 20:11-18
参照箇所	マタイ 28 章,マルコ 16 章,ルカ 24:1-12
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	I ペテロ 1:3b
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入

先週のイースターは、十字架にかかって死なれたイエスさまが甦ったことを記念する復活祭です。どうして世界中でイースターをお祝いするのでしょうか？世界で最初にイースターの喜びを体験した女性のお話しを読んでみよう。

□ポイント1 マリヤは、泣いていました(11-13)

(1-10節を短く要約) イエスさまは十字架にかけられ、新しい墓に葬られました。その日は金曜日で、3日目の日曜日にマグダラのマリヤが朝早くに墓に行ってみると、墓から石が取りのけられ、なんとイエスさまの遺体がそこにありませんでした！！急いでペテロともう一人の弟子に伝え、2人もお墓に走って行きました。2人はイエスさまの体がなくなっているのを確認し、自分のところに帰りました。

しかしマリヤは、イエスさまの体が盗まれたと思い込み、悲しくなり泣きながらもう一度お墓の中をのぞき込みました。すると2人の白い衣を着た御使いがいて「なぜ泣いているのですか」とマリヤに尋ねました。するとマリヤは「誰かが私の主を取っていき、どこに置いたのかわからないのです」と言いました。

□ポイント2 イエスさまが、マリヤに現れました(14-15)

マリヤが後ろを振り返ってみると、何とそこにイエスさまが立っておられたのです！しかしマリヤは、その方がイエスさまだとは分かりませんでした。イエスさまは「なぜ泣いているのですか？誰を探しているのですか？」とマリヤに尋ねました。でもマリヤは、まだイエスさまだと分からず、園の管理人だと思い、「あなたが、あの方を運んだのでしたら、どこに置いたのですか。私が引き受けます」と言いました。

問い:マリヤは、どうして自分の目の前にイエスさまがおられるのに分からなかったのでしょうか？

問い: 私たちもイエスさまがよみがえって今も生きていることを信じているのですが、「本当にイエスさまは生きておられるのかなあ？」とイエスさまのことが分からなくなってしまうことはありませんか？どんな時にそう思いますか？

□ポイント3 マリヤは、イエスさまがよみがえったことを知りました(16-18)

イエスさまは、「マリヤ」と声をかけました。その時、マリヤはイエスさまだとわかったのです。そしてヘブル語で「ラボニ・先生」と言って、イエスさまが死からよみがえったことが分かったのです。マリヤはイエスさまに言われた通り、お弟子さんたちにイエスさまがよみがえったこと、イエスさまが話されたことを伝えました。

問い: マリヤは、どうして目の前にいる人がイエスさまだと分かったのでしょうか？ また探していたイエスさまがよみがえり、今、目の前にいることを知り、どんな思いだったでしょう？

問い: 私たちも「イエスさまは生きておられる！」と喜びながら感謝する時があると思います。それはどんな時に「やっぱりイエスさまは生きておられるんだあ」と実感しますか？ (祈りが答えられたり、危険から守られたり…)

□結論 イエス様は、今も生きておられます

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

ここにイースターエッグがあります。新しいいのちのひな鳥が殻を破り誕生する様子を、大きな石が転がされ、死を打ち破りよみがえられたイエスさまのことを象徴して、イースターにはたまごが飾られるようになりました。どんな悲しみも、つらいことも、しんどいことがあっても、よみがえりのイエスさまを信じていく時、新しいいのちをもって生きる力が与えられていきます。

1. 喜びましょう！

マリヤのように泣きたくなる時、ありませんか？ 悲しみでいっぱいになって、何が何だか分からなくなること、みんなにもあるよね。イエスさまは一番悲しい死を打ち破られてよみがえられた神さまで。そのイエスさまが、今朝、私たち1人1人の名前を呼んでおられます。今も生きておられるイエスさまは私たちを助け、励まし、共にいてくださいます。

2. みんなでお祝いしましょう！

マリヤは弟子たちにイエスさまのよみがえりを伝えました。私たちも友だちに「イエスさまがいるから大丈夫。イエスさまはよみがえって、信じる私たちと一緒にいるんだよ」と伝えていきましょう。そして、みんなと一緒にイエスさまの復活をお祝いしましょう。

3. 希望があることを喜びましょう！

死んで終わりではありません。死は悲しいものです。しかしイエス様は、死を打ち破られました。だからよみがえりのイエス様を信じる人は、イエス様と同じようによみがえって、天国でもう一度会えるのです。これが私たちの希望です。ハレルヤ！！

教 師 ノ ー ト

日付	2015年 4月19日
単元	イースター
テーマ	愛の回復をして下さる主
タイトル	あなたは、わたしを愛しますか
テキスト	ヨハネ 21:15-22
参照箇所	ヨハネ 18:15-18,25-27,マタイ 26:31-35,マルコ 14:66-72,ルカ 22:31-34
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	Iヨハネ 4:19
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入

イエスさまが十字架にかかれる時、ニワトリが鳴く前にペテロはイエスさまのことを3度知らないと言いました。ペテロにとっては、触れて欲しくない少し前の失敗の出来事でしょう。イエスさまを裏切り、失敗したペテロに、よみがえりのイエスさまは、どのように声をかけられたのでしょうか？

□ポイント1 イエスさまは、ペテロに質問しました(15-17)

イエスさまは、ペテロに「あなたはわたしを愛しますか」と質問しました。ペテロは、「はい。私があなただけを愛することはあなたがご存知です」と言いました。イエスさまはペテロに同じ質問を3度しました。

仲良くしている友だちが、別の人に私のことを「あの人のこと知らないよ。友だちじゃないよ」って言っているのを聞いたら、みんなだったらどう思いますか？ペテロがイエスさまのことを3度も知らないと言った時、イエスさまはどう思ったのでしょうか？またペテロはその時のことをどう思っているのでしょうか？

普通の人だったら、「どうしてあの時、僕のことを知らないっていったんだい？」と言うかもしれません。でもイエスさまは3度も知らないと言ったペテロに対して、「あなたはわたしを愛しますか」と3度も言われました。イエスさまは、裏切られても赦し、愛し合う関係を大切にしているのですね。

□ポイント2 イエスさまは、「わたしの羊を飼いなさい」と言われました(15-19)

イエスさまは3度、ペテロに「わたしの羊を飼いなさい」と言われました。そして「他の人があなたの行きたくない所に連れて行きます」とも言われました。

イエスさまのことを知らないと言ったペテロですが、イエスさまはペテロを信頼してイエスさまの働きを任せているのです。それはペテロが自分のやりたいことをするのではなく、ペテロの行きたくない所に連れていかれるようなことになるとイエスさまは言われました。しかしそのことを通して、神さまの栄光が現れ、神さまって素晴らしいと多くの人々が神さまを賛美するようになるのです。

実際、イエスさまの十字架の時には人々の目を恐れてイエスさまのことを知らないと言ったペテロですが、よみがえりのイエスさまの言葉に励まされ、また聖霊の力をいただいて、イエスさまと同じように迫害されても、捕まえられても、それでも人々にイエスさまのことを伝える働きをしました。

□ポイント3 イエスさまは、「わたしに従いなさい」と言われました

イエスさまは、ペテロに「わたしに従いなさい」と言われました。ペテロは近くにいる弟子を見て「この人は、どうですか」とイエスさまにたずねました。イエスさまはペテロに「あなたはわたしに従いなさい」と再び言われました。

「この人はどうですか？あの人はどうですか？」と私たちは周りの人たちを気にしてしまうことがあります。でもイエスさまは「他の人ではなく、あなたはわたしに従いなさい」と言われました。

☞伝承ですが、ペテロの最後は逆さ磔(はりつけ)にされて殉教したとされています。映画「クオ・ヴァディス」なども迫害時代を生きたペテロたちの歴史背景を知るのに参考になります。

結論 イエスさまは、失敗した人も受け入れ、用いて下さいます

暗唱聖句を読み上げます

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. 「イエスさまを愛します」と告白しましょう

「イエスさまは、僕のことを愛してくれているだろうか？」と不安になる必要は全くありません。イエスさまの愛は永遠の愛なので、増えたり減ったりしません。大切なことは「あなたはイエスさまを愛していますか？」というイエスさまの質問に心から「主よ、愛します」と答えていくことです。私たちが心から「イエスさま、今日もあなたを愛します」と告白していくなら、私たちの毎日は変わってきます！

2. イエスさまのために何ができるでしょうか？

イエスさまを愛する人は、イエスさまに従い、イエスさまのために何かをすることができます。それは他の誰かと同じでなくても良いのです。愛するイエスさまのために今の私に何が出来るか、この1週間、イエスさまに聞きながら祈りましょう。そして来週、みんながどんなことを決心したか、聞き合いましょう。（先生は、小学生の時に、教会の犬を散歩に連れて行ったり、分級の準備や片付けを手伝ったよ！）

3. ペテロのように失敗して、心を暗くしている友だちはいませんか？

自信を失っている友だちはいませんか？そういう友だちがいたら、「イエスさまがいるよ。裏切り失敗したペテロを励ましたイエスさまがいるよ。イエスさまは、立ちあがる力を与えてくれるよ」と励まし、祈り、教会に誘いましょう。

4. 仲が悪くなっている友だちはいませんか？

以前は仲良かったけれど、誤解や意地悪や失敗、裏切り、悪口、ケンカ・・・、そういうことで仲が悪くなっている友だちはいませんか？本当は仲良くしたいんだけど、そう出来なくなっている友だちはいませんか？私たちがあきらめないで愛してくれるイエスさまから、私たちが本当の愛をもらって、仲直りをする力をもらいませんか？

教 師 ノ ー ト

日付	2015年 4月26日
単元	イースター
テーマ	天に上られた主
タイトル	約束
テキスト	使徒 1:3-11
参照箇所	ルカ 24:13-26, ヨハネ 14:2-3,16-17,26,15:26,16:7-16
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	使徒 1:8
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入

みなさんは、「約束」をしたことがありますか? 「約束」は必ず守ることがとても大切なことです。最初から、守らない約束なんて、意味がないですよ。時々、みなさんのお父さんやお母さんは、約束を守らないと怒るでしょう? 反対にお父さんやお母さんが約束を守らないときも、みなさんは怒るんじゃないですか?

イエス様も最後の時に、お弟子さんたちと約束をしたのです。さて、どんな約束だったのでしょうか。

例話)三浦綾子『塩狩峠』(新潮文庫)の中で、主人公の信夫が小学生の時の話が出てきます。学校のトイレにお化けが出るかどうかを確かめるために夜の8時に桜の木の下に集まるという約束をしました。しかし雨が降って来たので信夫は「行かない。誰も来てないから」と両親に言うと、「約束を破るのは、犬猫にも劣るものだよ。守らなくてもいい約束なら、はじめからしないことだな」と父親が言いました。しゅしゅ信夫が雨の中を桜の木の下まで出かけてみると、何と永野君がいたのです。信夫が「ひどい雨なのによく来たな」と言うと、永野君は「約束だからな」と言いました。信夫は、お父さんに行けと言われたから仕方なく来たことを恥ずかしく思いました。この後、信夫と永野君は、生涯の親友になっていくことになりました。(45-60頁)

□ポイント1 イエスさまは弟子たちに約束をしました(4-5)

よみがえったイエスさまは、弟子たちと一緒にいる時に、「エルサレムから離れないで、父なる神さまの約束を待ちなさい」と命じられました。父なる神さまの約束は、聖霊のバプテスマを受けるという約束でした。

⇒ポイント1か2で、聖霊のバプテスマについて、期待を持たせるように説明をしましょう。

今日の内容では、来週からの単元にならないと、子どもたちには聖霊のバプテスマのことが良く分からないかもしれません。それは弟子たちがペンテコステの日まで、聖霊のバプテスマのことが良く分からなかったことと似ているでしょう。ここでは、聖霊については期待感を持たせるように語り(次の単元を読んで子どもたちに適応させながら)、イエスさまは約束を守って下さるお方だという信仰(信頼)が引き出されるように語りましょう。

□ポイント2 イエスさまは、再び約束されて天に帰られました(6-9)

弟子たちは、父なる神さまの約束の本当に意味を分かかっていませんでした。そこでイエスさまは、聖霊の力が与えられる時、よみがえったイエスさまの証人になるという約束をされました。そしてイエスさまは、みんなの目の前で雲に包まれて天に帰られました。

聖霊の力は、私たちの想像を超える素晴らしい力です！力を「デュナミス」というギリシア語が遣われています。これは「デュナミス⇒ダイナミス⇒ダイナマイト！」というように(笑)、ダイナマイトの語源となるぐらい大きな大きな力です！恐がっていた弟子たちが、エルサレム、ユダヤ、サマリヤの全土、地の果てまでも、困難や迫害を乗り越えてよみがえりのイエスさまを伝えていく大きな力です。決して破壊的な力ではなく、イエスさまの衣のすそを触った時にイエスさまから流れた力も「デュナミス」です(ルカ 8:46)。つまり人を癒し、強め、生かす、そういう力を聖霊が与えてくれるという素晴らしい約束なのです。

□ポイント3 御使いたちが、イエスさまが再び来られると告げました(10-11)

弟子たちは、イエスさまが上って行かれた天を見つめていました。どんな気持ちで天を見つめていたのでしょうか？「せつかくよみがえったのに、天に帰って行かれるなんて・・・」、そんな気持ちかもしれません。すると白い衣を着た2人の御使いが弟子たちのそばに立っていたのです。そして2人の御使いは、イエスさまが再び来られると告げました。

*低学年の子ども達に話す場合は、イエス様が天に上げられる様子を言葉だけでなく、その場に自分がいるような気持ちで演技してみてください。子ども達が、この情景を描けるように話しましょう。

⇒「世の終わりまで共にいる」と言われたインマヌエルなるイエスさまが天に帰られたということ、またイエスさまがやがて来られるということは、今はイエスさまが私たちと共におられないように思うかもしれませんが、確かにイエスさまは昇天され、今は父なる神の右に座して私たちのためにとりなしておられます(ヘブル7:25、ロマ8:34)。そして同時に、聖霊によって私たちと共にいて下さるのです。

□結論 イエスさまは、約束通りに聖霊を与えて下さり、やがて再び来られます

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. イエスさまの約束の言葉は、必ず実現します。みんなが信じているイエス様の言葉(聖書の言葉)は、どんな言葉ですか？(先生は恐がりだったので、「雄々しくあれ、強くあれ」という聖書の言葉を信じていました。するとその通り、恐い時も力がわいてきました。また経済的にピンチの時もありましたが、「主は私の羊飼、私には乏しいことはありません」という言葉を信じて祈り、神様は必要の全てを満たしてくれましたよ)
2. イエス様は、私たちへの約束を守ってくれますが、みんなはイエス様との約束を守っていますか？今までイエス様に「聖書を読みます」「お祈りします」「弟に優しくします」などなどいろいろ約束して祈ってきたことを思い出して下さい。そして私たちもイエス様との約束を守る人となりましょう。
3. 家族や友だちと約束したことを守っていますか？
4. 聖霊のバプテスマは必ず与えられます。来週から聖霊について一緒に学びます。「私を聖霊に満たして下さい」って一緒に祈り求めましょう！イエスさまは約束を破られるお方ではありません。またやがてイエスさまは再び来られます。私たちはイエスさまに出会う日があります。その日まで、聖霊の力に満たされていきましょう。